

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

入学試験 ガイド

2024年

4月入学・9月入学



不測の事態の発生等により、やむを得ず入学試験の内容（試験日程、出願要件、選考方法等）を変更することがあります。変更内容は、本学「受験生サイト APUmate」にて公表します。出願、受験に際しては、必ず「受験生サイト APUmate」で最新情報を確認してください。

立命館アジア太平洋大学

2024年度入試 TOPICS	P2	国際バカロレア (IB) 選抜	P12
入試方式一覧	P3	一般選抜	P13
APU入試カレンダー	P4	秋期入学試験	P23
出願から合格発表までの流れ／国内学生入試の 受験で特別な支援を必要とする方へ	P5	編入学試験・転入学試験	P27
入学基準言語について／各入試方式における 英語外部資格試験の出願資格について	P6	入学検定料／入学手続時納付金／学費	P28
総合型選抜	P7	奨学金制度	P29
帰国生徒 (海外就学経験者) 選抜	P11	入試結果データ	P31
		Q&A	P33

アドミッション・ポリシー

学士課程

立命館アジア太平洋大学 (APU) の基本理念「自由・平和・ヒューマニティ」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」に共感し、世界から集う学生とともに学び、異なる文化と価値観の違いを認めて理解し合い、多文化・多言語キャンパスからなる大学コミュニティにおいて日英両語で積極的に交流し、相互の学びに貢献する意思を持った学生を求める。

このような学びを行うためにAPUに入学する学士課程の学生には、以下の資質・能力などを有することを求める。

1) 知識・技能

- 大学での学習に必要な基本的知識
- 大学での学習を遂行するために必要な英語または日本語の能力

2) 思考力・判断力・表現力

- 主体的に課題を発見し問題解決に取り組むためのクリティカル・シンキングと分析力、創造力
- 情報を正確に読み解く力、自分の考えを的確に表現し論理的に説明する力や数的思考力

3) 主体性・多様性・協働性

- 目標に向かう行動力、やり抜く力
- 他者との相互理解に基づき他者を巻き込みつつ、他者に貢献する態度
- 多文化教育環境を十分に活用し「多文化協働学修」に参画する意欲

アジア太平洋学部

- 1) アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会における「文化・社会・メディア」「国際関係」「グローバル経済」についての興味・関心
- 2) 社会、政治、経済を中心に社会科学の分野を勉強していくことができる基礎的な力
- 3) アジア太平洋学部での専門領域の文献を理解し、論述できるための基本的な読解力と文章力
- 4) 自分の興味、関心を追求し、それを明確に表現する力
- 5) 多くの情報を統合し、多角的に物事を考え、それらをまとめあげる力

国際経営学部

- 1) 経営戦略・リーダーシップ、マーケティング、会計・ファイナンス、アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメントを含むグローバル経営やビジネスについての興味・関心
- 2) 創造力、リーダーシップスキル、問題解決力を有し、さらにそれを伸ばす力と意欲
- 3) ビジネスを通してポジティブな変化をもたらす、アジア太平洋地域や世界におけるインクルージョンと持続可能性に向けてアクションを起こす意欲

サステナビリティ観光学部

- 1) 持続可能な社会と観光についての興味・関心
- 2) 国内外の様々な地域へ関心を持ち、地域の持続可能性に向けて課題解決に取り組む意欲
- 3) 学内外における学びを通じ、様々な社会のアクターと協働して学問横断的に学ぶ意欲

入学者選抜においては、APUにおける学びに適した学部学生を受け入れるために、上記の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を総合的に判断する多様な入学者選抜を行う。

2024年度入試TOPICS

NEW

英語外部資格試験のスコアを活用



新たに、英語重視方式においても英語外部資格試験の得点を活用することができるようになりました。また、実用英語技能検定は、受験級の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。

総合型選抜
活動アピール
方式

一般選抜
英語重視
方式

共通テスト
利用

⇒ 詳細はP6、P9、P13、P17をご覧ください。

NEW

国内学生優秀者育英奨学金 授業料100%減免制度

入学試験合格者のうち成績が優秀なものに支給されます。最大4年間で580万円（見込）の授業料が全額免除されます。

⇒ その他の奨学金も含め詳細はP29をご覧ください。

UNITE Program atama+

（学部指定単元AI学習プログラム）
修了で出願可

各学部が指定する教科の単元を修了することで、総合型選抜の活動アピール方式に出願することができます。

⇒ 詳細はP10をご覧ください。

APハウス寮費半額減免制度

入学後の経済的支援を目的にした制度で、APハウス寮費の半額が減免されます。

⇒ 詳細はP29をご覧ください。

APハウス希望者 100%入寮

2023年4月入学者は
10人に9人が
入寮！

国際教育寮APハウスは、希望者全員が入寮することができます。希望する方は出願時に登録が必要です。

⇒ APハウスについての詳細はこちら



探究活動が 活かせる 入試が盛沢山



総合評価方式・探究型は探究力を筆記試験で発揮。活動アピール方式では、探究活動の経験がアピール可能！

全国で受験可能！

総合型選抜は出願も試験も
ALL オンライン

一般選抜は、
全国31試験地開催



⇒ 一般選抜の試験地はP16をご覧ください。

入試方式一覧

あなたの「得意」や「経験」を活かせる入試方式を見つけましょう！
各選抜方式併願可能！（詳細はP33へ）

総合型選抜

高校時代に取り組んだ「探究的な学び」で深めた思考力を活かしたい！

▶ 「総合評価方式・探究型 ～ロジカル・フラワー・チャート型～」 ⇒P7

小論文対策を活かしつつ、APUでの学びや様々な活動への意欲を面接で伝えたい！

▶ 「総合評価方式・論述型」 ⇒P8

高校時代に取り組んだ活動（英語外部資格試験・課外活動・留学経験等）をアピールしたい！

▶ 「活動アピール方式」 ⇒P9

帰国生徒 （海外就学経験者） 選抜

海外での学習経験、生活を通して得た学びを活かしたい！

▶ 「帰国生徒（海外就学経験者）選抜」 ⇒P11

※総合型選抜と併願することもできます

国際バカロレア 選抜

高校時代に取り組んだ国際バカロレア（IB）のディプロマ取得に至る学びを活かしたい！

▶ 「国際バカロレア（IB）選抜」 ⇒P12

一般選抜

得意な教科を活かして受験したい！

▶ 本学独自試験「前期方式」「英語重視方式」「共通テスト併用方式」 ⇒P13

国公立大学受験対策を活かして受験したい！

▶ 大学入学共通テストを利用した各方式 ⇒P14

3月入試で最後まで頑張りたい！

▶ 本学独自試験「後期方式」／共通テスト利用「共通テスト+面接方式」
「共通テスト方式（後期型）」 ⇒P15

秋期入学試験

9月に入学をしたい！

▶ 「秋期・総合評価方式・論述型」
「秋期・活動アピール方式」「秋期・帰国生徒（海外就学経験者）選抜」
「秋期・国際バカロレア（IB）選抜」 ⇒P23

入試方式
選び方ガイド



⇒ さらに詳しく知りたい方はこちら

APU 入試カレンダー

入試日程をよく確認のうえ、事前に余裕を持って準備しましょう。

出願期間 試験日 合格発表

		2023年9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月		
4月入学	総合評価方式	探究型	第1回	9/1~14	10/1 10/21 または10/22	11/1				
			第2回			11/21~12/4	12/17	1/20 または1/21	1/30	
		論述型	第1回	9/1~14	9/30	10/21 または10/22	11/1			
			第2回				11/21~12/4	12/16	1/20 または1/21	1/30
			第3回						2/5~20	3/8 3/17 ※第1次選考・第2次選考を同日に実施
		活動アピール方式	第1回	9/1~14	10/14 または10/15	11/1				
	第2回			10/20~11/2		12/2 または12/3	12/12			
	第3回					12/1~14	1/20 または1/21	1/30		
	帰国生徒 (海外就学経験者) 選抜	第1回	9/1~14	10/21 または10/22	11/1					
		第2回		10/20~11/2		12/2 または12/3	12/12			
第3回					12/1~14	1/20 または1/21	1/30			
国際バカロレア (IB) 選抜	第1回				12/1~14	1/20 または1/21	1/30			
2~3回生 編入学 転入学(注)	第1回	9/1~14	10/21 または10/22	11/1						
	第2回		10/20~11/2		12/2 または12/3	12/12				
一般選抜	前期方式					1/6~22	2/1~4	2/17		
	英語重視方式					1/6~26	2/7	2/20		
	共通テスト併用方式					1/6~26	2/8 2/9	2/20		
	共通テスト+面接方式						2/12~25	3/6 3/17		
	後期方式						2/12~25	3/7 3/17		
	共通テスト方式 (後期型以外)					1/6~12	2/17			
	共通テスト方式 (後期型)						2/12~3/1	3/17		

		2023年10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月	4月	5月
9月入学	総合評価方式・ 論述型	第1回					3/8~21	4/6	4/27 5/7
		第1回	10/20~11/2		12/2 または12/3	12/12			
		第2回			12/22~1/11		2/17 2/27		
	秋期・活動 アピール方式	第3回						3/8~21	4/27 5/7
		第1回			12/22~1/11		2/17 2/27		
		第2回						3/8~21	4/27 5/7
	秋期・帰国生徒 (海外就学経験者) 選抜	第1回			12/22~1/11		2/17 2/27		
		第2回						3/8~21	4/27 5/7
秋期・国際 バカロレア(IB) 選抜	第1回	10/20~11/2		12/2 または12/3	12/12				
	第2回						3/8~21	4/27 5/7	
秋期・2~3回生 編入学/転入学(注)	第1回						3/8~21	4/27 5/7	

(注) 2~3回生編入学および3回生転入学は、アジア太平洋学部・国際経営学部のみ対象。サステナビリティ観光学部は2回生転入学のみ対象。

出願から合格発表までの流れ

〔総合型選抜、帰国生徒(海外就学経験者)選抜、国際バカロレア選抜、秋期入学試験、編入学・転入学試験〕

出
願
の
流
れ

① 事前準備

インターネットに接続されたパソコン・スマートフォンなどを用意する。
入学試験要項で出願資格や必要書類・写真データなどを確認し、用意する。

② インターネット出願サイトへアクセス

受験生サイト APUmate からアクセス

③ 出願登録

各入試の出願期間開始日の13時から最終日の17時まで登録が可能です。
「入学基準言語」「APハウス入寮希望」「国内学生優秀者育英奨学金希望」はここでしか登録できません。

④ 入学検定料(受験料)の支払い

クレジットカード、コンビニエンスストア、
金融機関ATM(ペイジー)、
ネットバンキングのいずれかでお支払いください。

⑤ 出願書類を郵送(速達・簡易書留)

出願完了

⑥ 受 験

① 筆記試験・面接は全てオンラインで実施します。
受験票をインターネット出願サイトから印刷してください。

⑦ 合格発表

合格発表日の13時からオンライン合否照会で通知します。
国内学生優秀者育英奨学金選考結果もオンライン合否照会で確認してください。

※一般選抜の出願の流れは、11月に発行される一般選抜入学試験要項でご確認ください。

国内学生入試の受験で特別な支援を必要とする方へ

本学の国内学生入試では、障がいなどの状況に応じて受験上の配慮が手配される場合があります。

受験上の配慮を希望される場合は、申請書の提出が必要です。詳細は「受験生サイト APUmate」をご確認ください。



入学基準言語について

APUの教育の特色のひとつが、日本語と英語で授業を開講する「日英2言語教育」です。

入学希望者は、入学試験への出願時に入学基準言語として「日本語基準」か「英語基準」のいずれかを選択する必要があります。

日本語基準とは？

日本国内の高校を卒業した学生の大多数は、日本語基準で受験し、入学しています。

1～2回生時は日本語で行われる教養科目や専門教育科目を履修します。また同時に必修言語科目として「英語」を履修し、英語力を伸ばしていくことで、3～4回生時は英語で行われる授業の履修数を増やしていきます。

なお、卒業をするためには英語で行われる教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得する必要があります。

英語基準とは？

出願書類の記入から面接など全ての入試選考を英語で実施し、入学当初から英語で行われる教養科目や専門教育科目を履修します。

そのため、中学・高校に相当する過程において英語で教育を受け、英語の方が授業が履修しやすい方が該当します。

なお、必須言語科目は「日本語」となりますが、日本語基準学生のような卒業要件はありません。

各入試方式における英語外部資格試験の出願資格について

各入試方式における英語外部資格試験の出願資格は下記のとおりです。

英語外部資格試験スコアについて

※英語外部資格試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2021年10月1日以降のものを有効とします。

	TOEFL iBT®	TOEIC® (L&R/S&W)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic
活動アピール入試出願資格	42	1150	4.0	1980	225	420	960	140	38
国際バカロレアIB入試(日本語基準)出願資格	42	1150	4.0	1980	225	420	960	140	38
一般選抜における外国語特例措置(満点換算)	72	1560	5.5	2304	309	600	1190	160	48
1回生英語基準入試出願資格	75	1600	6.0	2304	318	630	1215	169	50
2回生編転入 日本語基準出願資格	55	1340	5.0	2304	-	-	-	149	42
3回生編転入 日本語基準出願資格	61	1420	5.5	2304	-	-	-	153	45
2・3回生 編転入英語基準出願資格	85	1730	6.5	2630	-	-	-	176	58

※TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest™ Scores での出願も可能です。

※TOEIC® (L&R/S&W)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interview も含みます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。

※GTECは、オフィシャルスコアに限ります。

※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含みます。

<詳細については、入学試験要項で確認してください。>

総合評価方式・探究型 ～ロジカル・フラワー・チャート型～

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 自身の中から湧き起こる興味や意欲に基づき、「問い」をたて、情報を集めて検証し、解を見つける力＝探究力に自信のある方
- 中学校、高等学校における探究学習やその他の探究的活動に熱心に取り組んでこられた方
- 社会的・国際的課題に強い関心を持ち、その解決とよりよい世界の実現に向けて取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験／オンライン

与えられた資料から、自分なりの「問い」を立て、自分なりの答え（仮説）を設定した上で、設問に解答（試験時間120分）

第1次選考
合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(20～30分)
(口頭試問を含む)



選考・評価のポイント

- 〈出願書類〉
- 志望学部への興味・関心
 - 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力
- 〈筆記試験〉
- 着眼点や読解力、発想力、論理性などを踏まえた探究的な物の見方や考え方の基礎的素養 など



選考・評価のポイント

- 出願書類と筆記試験の解答内容に基づく質疑応答
- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや、探究的な物の見方や考え方 など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考		第2次(最終)選考	合格発表日
		試験日	結果通知日	試験日*	
第1回	2023年 9月1日(金)～9月14日(木)	10月1日(日)	10月13日(金)	10月21日(土)または 10月22日(日)	11月1日(水)
第2回	2023年 11月21日(火)～12月4日(月)	12月17日(日)	2024年 1月12日(金)	1月20日(土)または 1月21日(日)	1月30日(火)

* 第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。
 ※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
 ※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業または2024年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

この方式の対策は？

- 本学では、大学受験時点でロジカル・フラワー・チャートの全てを完全な形で作成できるところまでは求めていません。

ロジカル・フラワー・チャートを活用して探究的な学びの基礎を身につけていけば、大学入学後の学びの質が高まることを期待しています。したがって、受験生サイトAPUmateに記載している「解答のポイント」を参考にして、

まずは

- ① 社会的に価値のある「問い」を立てること
- ② その「問い」に対応した仮説を筋道立てて説明できる練習をすることが必要です。

また、普段から身の周りの出来事に関心を持ち、「Why」をキーワードに「問い」を立てる練習を心掛けましょう。



ロジカル・フラワー・
チャートの
詳細はこちら



解答の
ポイント

総合評価方式・論述型

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 文章を読解し、その内容を踏まえて、自身の考えや意見を論理的に分かりやすく表現し、構成する力に自信のある方
- 様々な分野の文章に親しみ、豊かな思考経験をされてこられた方
- 将来の目標を持ち、目標を踏まえて入学後の具体的な学修計画を立てて、意欲的に取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験／オンライン

社会で生起する様々な問題に関する評論文・エッセイ等の課題文を読み、小論文を作成（試験時間90分、記述量1,200字）

第1次選考
合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(20~30分)



選考・評価のポイント

〈出願書類〉

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力

〈筆記試験(小論文)〉

- 課題文に対する読解力
- 論理的思考力
- 文章表現力

など



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考		第2次(最終)選考	合格発表日
		試験日	結果通知日	試験日*	
第1回	2023年 9月1日(金)~9月14日(木)	9月30日(土)	10月13日(金)	10月21日(土)または 10月22日(日)	11月1日(水)
第2回	2023年 11月21日(火)~12月4日(月)	12月16日(土)	2024年 1月12日(金)	1月20日(土)または 1月21日(日)	1月30日(火)
第3回	2024年 2月5日(月)~2月20日(火)	3月8日(金) 第1次選考・第2次選考を同日に実施			3月17日(日)

*第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。
 ※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
 ※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業または2024年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

この方式の対策は?

- 志望理由書は「なぜAPUで学ぶのか」「あなたの将来とAPUの学びはどう繋がるのか」などについて、自分の考えを整理しましょう。
- 小論文対策をしっかりとしてください。
 本学の小論文は一般的な「小論文試験」と言われるものと大きな違いはありません。高等学校等での学習にしっかりと取り組むことに加えて、普段からご自身の興味関心に合わせて、本や新聞を読んでおくことが重要です。その上で、自分の考えを文章にまとめること、またそれを誰かに読んでもらい批評してもらうことも対策になるでしょう。また課題文の内容やポイントを正確かつ素早く把握することも重要です。設問の意図を理解して、自分の主張を論理的に表現する練習をしましょう。
- 面接では志望理由も大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習をしましょう。



過去の出題例は
こちら

活動アピール方式

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。
※海外で就学された方も受験可

目的

本入学試験は、志望される各学部の間学分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を
受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 中学校卒業以降、自身が熱心に打ち込まれた活動を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 中学校卒業以降、海外留学等の国際経験、語学、探究、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、
様々な分野で高い活動実績や優れた活動を行われた方
- 意欲的な取り組みにより培われた能力や経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力
- 言語能力
- 探究、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなどの分野における活動成果
- 海外での学習成果 ● 取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

第1次選考
合格者

■ 第2次(最終)選考

個人面接/オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考	第2次(最終)選考	合格発表日
		結果通知日	試験日*	
第1回	2023年 9月1日(金)~9月14日(木)	10月6日(金)	10月14日(土)または 10月15日(日)	11月1日(水)
第2回	2023年 10月20日(金)~11月2日(木)	11月24日(金)	12月2日(土)または 12月3日(日)	12月12日(火)
第3回	2023年 12月1日(金)~12月14日(木)	2024年 1月12日(金)	1月20日(土)または 1月21日(日)	1月30日(火)

*第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)~(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者、または2024年3月31日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 中学校卒業以降、P10 表1①~⑦のいずれかまたは複数の優れた活動に取り組まれた方。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。

- ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
- ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
- ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.6へ

この方式の対策は?

- 3ヵ月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 学校または自主的に取り組んだ探究活動を研究会等で発表した経験があればアピールしましょう。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様に乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由や活動のアピールも大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。

表1 提出された活動は3つまで評価します。

分野	本学が入学者に求める活動実績・成果の水準（目安）																		
① 海外留学等の国際経験	<ul style="list-style-type: none"> ●3か月以上の海外留学や留学先での学業経験 ●インターナショナルスクール等外国における高等学校に相当する課程で、正規の教育制度に基づき、通算3か月以上の学業経験 ●国際バカロレア (IB)のディプロマを取得または取得見込み 																		
② 語学*	<p>【英語】次の基準を満たすこと</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>TOEFL iBT®</th> <th>IELTS</th> <th>TOEIC® (L&R/S&W)</th> <th>実用英語技能検定</th> <th>TEAP</th> <th>TEAP CBT</th> <th>GTEC</th> <th>ケンブリッジ英検</th> <th>PTE Academic</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42</td> <td>4.0</td> <td>1150</td> <td>1980</td> <td>225</td> <td>420</td> <td>960</td> <td>140</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● [中国語] 中国語検定4級、実用中国語技能検定4級、HSK2級 ● [韓国語] 韓国語能力検定2級、「ハングル」能力検定4級 ● [スペイン語] スペイン語技能検定4級 <p>【上記以外の言語】検定試験等の資格取得またはスピーチコンテスト等への出場</p>	TOEFL iBT®	IELTS	TOEIC® (L&R/S&W)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic	42	4.0	1150	1980	225	420	960	140	38
TOEFL iBT®	IELTS	TOEIC® (L&R/S&W)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic											
42	4.0	1150	1980	225	420	960	140	38											
③ 探究	学校もしくはその他の機関または自主的に探究学習を進め、探究・自由研究の成果をまとめたうえで、コンテストまたは研究会等で発表したこと																		
NEW ④ 学業	UNITE Program (学部指定単元AI学習プログラム)において本学が指定する単元を期間内に修了したこと ※UNITE Programの受講は、別途所定の期限内に申請が必要です。詳細は、受験生サイトAPUmateをご確認ください。																		
⑤ 文化・芸術スポーツ	活動分野、種目問わず、熱心に文化・芸術・スポーツの活動に打ち込み、試合、コンクール、コンテスト等での成果を発揮したこと																		
⑥ 生徒会ボランティア自主活動等	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会(会長・副会長等執行部)の活動や、社会的に評価を得た(新聞に掲載された等)その他社会的な活動(ボランティア等) ●高校生を対象とする弁論・スピーチ、ビジネスプラン、課題学習等各種コンテストへの出場 																		
⑦ 各種資格等	<ul style="list-style-type: none"> ●基本情報技術者試験合格、日商簿記2級以上、日商珠算能力検定1級、ニュース時事能力検定1級 ●2年以上の公公式学習履歴があり、公文認定テストの高校基礎課程テスト(または最終教材修了テスト)で英語を含む2教科以上に合格 																		

*語学能力に関する試験結果は、証明書に記載された受験日が2021年10月1日以降のものを有効とします。
 *TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Date Scoresに加え、MyBest™ Scoresでの出願も可能です。
 *TOEIC®(L&R/S&W)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。
 *実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含まれます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき評価します。
 *GTECは、オフィシャルスコアに限りません。
 *ケンブリッジ英検はリンガスキルも含まれます。

NEW 【活動の証明について】

上記の活動については、必ずしも優勝や入賞等の実績を必須とはしませんが、活動の証明は、志願者本人が特定されること、年月日が証明されることが必要です。証明は、活動した機関等が発行した証明書あるいは、第三者が客観的に証明するものであることに留意ください。なお、本学が実施するUNITE Programの修了については、証明書等の提出の必要はありません。また、証明書の書式の指定はありません。個別の活動の証明書について、実績または証明として成立するかどうか大学にお問い合わせいただいても回答できません。志願者自身で判断して提出してください。

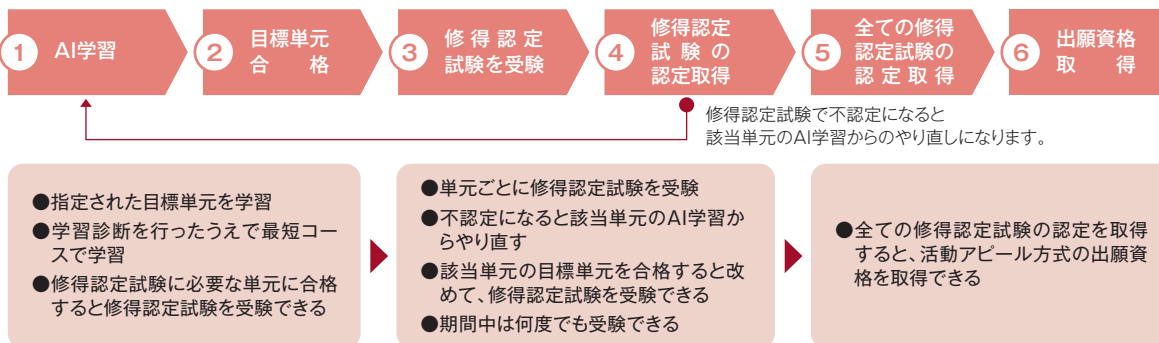
UNITE Programを活用した出願資格取得までの流れ

atama+

各学部が指定する教科の単元を修了した方は、活動アピール方式で出願することができます。

詳細は、受験生サイトAPUmateをご覧ください。

※活動アピール方式の必須の出願資格ではありません。



UNITE Programについて



帰国生徒(海外就学経験者)選抜

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部・学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 日本とは言語や文化の異なる国・地域における学修・生活経験を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 日本国外において正規の教育制度に基づく学校で2年以上の教育を受けた方
- 日本とは言語や文化の異なる国・地域における学修・生活経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。

第1次選考
合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 海外における経験の豊かさとその成果
- 高等学校に相当する課程での学習成果
- 言語能力の水準
- エッセイ:高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができる

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考 試験日*	合格発表日
第1回	2023年 9月1日(金)~9月14日(木)	10月13日(金)	10月21日(土)または 10月22日(日)	11月1日(水)
第2回	2023年 10月20日(金)~11月2日(木)	11月24日(金)	12月2日(土)または 12月3日(日)	12月12日(火)
第3回	2023年 12月1日(金)~12月14日(木)	2024年 1月12日(金)	1月20日(土)または 1月21日(日)	1月30日(火)

*第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

日本国籍を有する者(日本に永住権を持つ者を含む)であって、次の(1)~(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者、または2024年3月31日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校(Grade7以上)にあたる課程で2024年3月31日までに通算2年以上の教育を受けた、または受ける見込みの者。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。
 - ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
 - ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
 - ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.6へ

この方式の対策は?

- 志望理由書、エッセイの作成時や面接では、日本国外で生活をし、教育を受けたことでどのような成長ができたのかをよく考えましょう。
- APUに入学した後で、自分の経験をどのように活用するのか考えてみましょう。
- 居住していた国や地域で使用していた言語の資格を取得していれば積極的にアピールしましょう。

国際バカロレア (IB) 選抜

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 国際バカロレア (IB) のディプロマ課程における活動を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 国際バカロレアのディプロマ (IB Diploma) の取得者または入学までに取得見込みの方
- 国際バカロレア (IB) のディプロマ課程を通じて培われた能力や経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲や熱意、記述の論理性や説得力
- 課題論文 (EE:Extended Essay) の内容
- IB Predicted Grades など

第1次選考 合格者



■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン (約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 課題論文 (EE:Extended Essay) 等の出願書類をもとに、APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや探究的な物の見方や考え方 など

※IBDPスコアを含む書類審査での成績が大変優秀な方のうち、国内学生優秀者育英奨学金の受給を希望しない方は、面接を免除して、書類審査のみで合格とします。

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終) 選考試験日*	合格発表日
第1回	2023年 12月1日(金)～12月14日(木)	2024年 1月12日(金)	1月20日(土)または 1月21日(日)	1月30日(火)

*第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)～(3)のすべてに該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得した者または2024年3月31日までに取得する見込みの者。
- (3) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

① International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得または取得見込みの者。

② **[日本語基準出願者]**

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア **※P.6へ**

[英語基準出願者]

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア **※P.6へ**

③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

2024年3月31日までに、International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得できなかった者は、合格した場合であっても入学資格を取り消します。

この方式の対策は？

- International Baccalaureate (IB) のディプロマ取得に至る学びについて、説得力をもって説明できるようにしておきましょう。
- APUに入学した後で、自分の学修経験をどのように活用するのか考えてみましょう。

前期方式[スタンダード3教科型] 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

「3教科で総合的に評価する」APUのスタンダード入試

3教科の合計点で合否判定を行う方式。試験日が異なれば複数回の受験もできます。試験日・学部を問わず、出題形式・問題傾向は同じです。

※国語：現代文、古典（漢文の独立問題は出題しない。）

英語
<120点>
80分

+

国語※
<100点>
80分

+

選択科目
(公民・地歴・数学)
<100点>
80分

英語重視方式 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

英資格
活用

併願
可

「前期方式と同一の出題形式で英語力が活かせる」方式

英語・国語・選択科目の3教科を受験し、「英語の得点」+「国語または選択科目の高得点」の2教科で判定します。

※国語：現代文、古典（漢文の独立問題は出題しない。）

英語
<150点>
80分

+

国語※
<100点>
80分

または

選択科目
(公民・地歴・数学)
<100点>
80分



英語外部資格試験の得点を活用することができます。

英語外部資格試験の得点は、次の通り英語の得点に換算し、独自試験の点数といずれか高得点を採用し、合否判定に用います。英語外部資格試験を活用する場合は、出願時に、それらを証明する書類（コピー）を提出してください。

※英語外部資格試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2021年10月1日以降のものを有効とします。

	換算点数			
	150点	135点	120点	105点
TOEFL iBT®	83	72	50	42
TOEIC® (L&R/S&W)	1700	1560	1285	1150
IELTS (Academic Module)	6.0	5.5	4.5	4.0
実用英語技能検定	2450	2304	2142	1980
TEAP	342	309	267	225
TEAP CBT	698	600	508	420
GTEC	1280	1190	1080	960
ケンブリッジ英検	170	160	150	140
PTE Academic	—	45	40	38

※TOEFL iBT® Testは、TOEFL iBT® Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest™ Scoresでの出願も可能です。

※TOEIC® (L&R/S&W)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含まれます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。

※GTECは、オフィシャルスコアに限りです。

※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含まれます。

<詳細については、入学試験要項で確認してください。>

共通テスト併用方式 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

英語
特例

併願
可

「英語と国語（現代文）の本学独自試験に、大学入学共通テストの高得点を加えた合計点」で判定

大学入学共通テスト後に出願できるため高得点科目が活かれます。

大学入学共通テストの教科・科目		+	本学独自試験科目	
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>		全科目のうち 高得点1科目を採用	英語
国語	「国語」			
数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」			
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」			
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」			
理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>			
<100点>		<100点> 80分	<100点> 80分	

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくは、P.17をご覧ください。

【注2】「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.18をご覧ください。

前期方式・英語重視方式・共通テスト併用方式対策のポイント

- 本学の一般選抜は高校で学んだ基礎学力を求めるものです。これまでの学びを復習して基礎をしっかりと固めましょう。
- 過去問題に馴染み、解答の順番や時間配分を考慮しておくことも有効でしょう。
- 詳細な出願方針と学習のポイントはP.19~22をご覧ください。

共通テスト方式

日本語基準

優秀者奨学金

英語特例

併願可

「大学入学共通テストの得点のみで合否を判定する」方式

高得点の教科・科目が活かれます。選択科目は高得点科目を自動的に採用します。

大学入学共通テストの教科・科目		配点		
7科目型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	200点	
	国語	「国語」	200点	
	数学	「数学I・数学A」	100点	
	数学	「数学II・数学B」	高得点 4科目を採用	4科目で 400点 (各100点)
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目		
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」		
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>		

大学入学共通テストの教科・科目		配点		
5科目型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	200点	
	国語	「国語」	200点	
	数学	「数学I・数学A」	200点	
	数学	「数学II・数学B」	高得点 2科目を採用	2科目で 400点 (各200点)
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目		
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」		
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目 <small>【注2】</small>		

大学入学共通テストの教科・科目		配点				
		アジア太平洋学部	国際経営学部	サステイナビリティ観光学部		
3教科型	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	200点	150点	200点	
	国語	「国語」	150点	150点	150点	
	数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」	高得点 1科目を採用	150点	200点	150点
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」				
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」				
	理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>				

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.17をご覧ください。

【注2】「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.18をご覧ください。

共通テスト方式の併願

各科目、教科型の併願はもちろん、複数学部の併願もできます。

また、併願時の入学検定料は1出願目が18,000円、2併願目以降が各10,000円となります。(出願期間が同一の場合)。

後期方式 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

「英語+国語の2教科」で実施

2月実施の入試結果を確認した後も出願できる英・国2教科で実施する方式です。

英語
(120点)
80分

+

国語
(現代文のみ)
(100点)
80分

後期方式の学部間併願

1回の受験で複数学部の併願ができます。また、併願の場合の入学検定料は2併願目以降が10,000円となります。

共通テスト + 面接方式 【本学独自試験】

日本語
基準

優秀者
奨学金

英語
特例

併願
可

「大学入学共通テストの得点+面接により、基礎学力や意欲、適性を総合的に評価する」方式

大学入学共通テストの得点(300点)と面接の得点(100点)により、基礎的な学力に加えて志望学部への興味・関心や入学後の学修意欲等を総合的に評価します。なお、大学入学共通テストの得点率が60%(合計得点180点)以上であることが合格の必要条件となります。

大学入学共通テストの教科・科目		配点	+	本学独自試験	配点	試験時間
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	100点		+	面接 (オンライン) 出願時に提出をした 「志望理由書」の 内容に関する 質疑応答等	100点
国語	「国語」	100点				
数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」	高得点 1科目 を採用 1科目で 100点				
公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」					
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」					
理科	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>【注2】</small>					

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.17をご覧ください。

【注2】「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※ 大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.18をご覧ください。

⚠ 面接試験評価のポイント ●志望学部への興味・関心 ●入学後の学修計画の具体性 ●入学後の学修・正課外活動を含む学生生活全般への意欲等

共通テスト方式(後期型)

日本語
基準

優秀者
奨学金

英語
特例

併願
可

「大学入学共通テストの得点のみで合否判定する」方式

3学部を併願できます。

大学入学共通テストの教科・科目		配点
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>【注1】</small>	200点
国語	「国語」	200点
4科目型	数学	高得点 2科目を採用 2科目で 400点 (各200点)
	公民	
	地歴	
	理科	
	「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目 <small>【注2】</small>	

5科目型	大学入学共通テストの教科・科目			配点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>[注1]</small>		200点
	国語	「国語」		200点
	数学	「数学I・数学A」		200点
	数学	「数学II・数学B」		高得点 2科目を採用 2科目で 400点 (各200点)
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目		
	地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」		
理科	『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』 「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目 <small>[注2]</small>			

3教科型	大学入学共通テストの教科・科目			配点		
				アジア太平洋学部	国際経営学部	サステイナビリティ観光学部
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択 <small>[注1]</small>		200点	150点	200点
	国語	「国語」		150点	150点	150点
	数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」		高得点 1科目を採用	150点	200点
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」				
地歴	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」					
理科	『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 <small>[注2]</small>					

【注1】英語外部資格試験のスコア等が一定基準に達している場合、特例措置の対象となります。詳しくはP.17をご覧ください。

【注2】『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』は、2科目の合計点を1科目の得点とみなします。

※大学入学共通テストの試験科目の取り扱いについての詳細はP.18をご覧ください。

一般選抜 INFORMATION

2024年3月31日までに大学入学資格を持つ方を対象に一般選抜を実施します。
 出願資格の詳細については2024年度一般選抜の「入学試験要項」で確認してください。

1 入試スケジュール

◆共通テスト方式[全学部共通]

教科・科目型		2月入試		3月入試	
		[7科目型]	[5科目型]	[3教科型]	[後期型(4科目型・5科目型・3教科型)]
出願期間	インターネット*	2024年 1月6日(土)～12日(金)		2024年 2月12日(月)～3月1日(金)	
合格発表日		2月17日(土)		3月17日(日)	

◆本学独自試験[全学部共通]

試験日	2月							3月		
	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	7日(水)	8日(木)	9日(金)	6日(水)	7日(木)	
入試方式	前期	前期	前期	前期	英語重視	共通テスト併用	共通テスト併用	共通テスト+面接	後期	
試験地	★千葉(柏)・埼玉(大宮)・東京・横浜・金沢・名古屋・滋賀(草津)・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・広島・高松・福岡・大分 札幌・仙台・松本・静岡・浜松・福井・三重・姫路・和歌山 岡山・松江・山口・松山・北九州・熊本・鹿児島							静岡・浜松・三重	オンライン	★と同じ
出願期間	インターネット*	2024年 1月6日(土)～22日(月)				2024年 1月6日(土)～26日(金)		2024年 2月12日(月)～2月25日(日)		
合格発表日		2月17日(土)				2月20日(火)		3月17日(日)		

※調査書等の出願書類は、別途郵送が必要となります(出願期間最終日の消印有効)。

2 英語外部資格試験スコア等保持者への「外国語」の特例措置

TOEFL[®] Test、TOEIC[®] TEST等のスコアが基準以上であれば大学入学共通テストの「外国語」を満点とします。

下記①～⑥の入試方式で受験する者のうち、本学が指定する英語外部資格試験において下記の基準以上のスコア・等級を持つ方は、それらを証明する書類（コピー）を出願時に提出してください。大学入学共通テスト「外国語」の得点を満点と換算し、合否判定に用います。

【対象となる入試方式】対象となる入試方式には **英語特例** を表示しています。

- ① 共通テスト方式 7科目型 ⑤ 共通テスト+面接方式
 ② 共通テスト方式 5科目型 ⑥ 共通テスト方式
 ③ 共通テスト方式 3教科型 後期型 4科目型・5科目型・3教科型
 ④ 共通テスト併用方式

TOEFL iBT [®]	TOEIC [®] (L&R/S&W)	IELTS (Academic Module)	実用英語技能検定	TEAP	TEAP CBT	GTEC	ケンブリッジ英検	PTE Academic
72	1560	5.5	2304	309	600	1190	160	48

※英語外部試験のスコア等は、証明書に記載された受験日が、2021年10月1日以降のものを有効とします。

※TOEFL iBT[®] Testは、TOEFL iBT[®] Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest[™] Scoresでの出願も可能です。

※TOEIC[®] (L&R/S&W)については、TOEIC[®] S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアを示します。

※実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含まれます。また、受験の合否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき換算します。

※GTECは、オフィシャルスコアに限りません。

※ケンブリッジ英検はリンガスキルも含まれます。

<詳細については、入学試験要項で確認ください。>

3 学部・方式の併願

※入学検定料についてはP.28をご覧ください。

2月実施（本学独自試験）

〔試験日が異なる場合〕

- ① 試験日が異なれば、学部や方式を問わず併願ができます。また、同一名称の方式でも、前期方式では最大4回、共通テスト併用方式では最大2回の出願ができます。
- ② 複数の試験日に出願した場合（受験番号が複数ある場合）、受験番号ごとに合否判定を行います。

〔同一試験日の場合〕

同じ試験日に併願はできません。複数出願した場合は、実際に受験した受験番号・学部・方式のみ合否判定を行います。

3月実施（本学独自試験）

後期方式では1受験で複数学部を併願できます（入学検定料は2併願目以降は10,000円が別途必要）。また、「後期方式」と「共通テスト+面接方式」を併願することもできます。

共通テスト方式

2月実施と3月実施のいずれも学部間の併願ができます。また、2月実施では7科目型・5科目型・3教科型、3月実施では5科目型・4科目型・3教科型の併願ができます。

4 本学独自試験について

本学独自試験「選択科目」の解答科目選択方法

- 本学独自試験の「選択科目」（公民、地理歴史、数学）は、選択解答する科目を出願時に届け出る必要はありません。選択できる科目は学部・学科の入試方式において定めており、試験開始時にその中から解答科目を選択することができます。

合否判定について

- 合否判定は各入試方式において定められた試験科目の合計点で行います。
- 複数回受験した場合、それぞれの受験について合否を判定します。

得点調整について

試験日や解答科目による問題難易度の差によって生じる不公平を是正するため、本学独自試験において以下の得点調整を行うことがあります。

- 同一方式の試験を複数の試験日で実施する場合は、科目ごとに試験日間の得点調整を行うことがあります。
 - 「選択科目（公民、地理歴史、数学）」については、それぞれ科目間の得点調整を行うことがあります。
 - いずれも、試験日や科目ごとの平均点および標準偏差の差を補正することができる統計的方式にもとづいて、個々の受験生の得点を調整します。
- ※得点調整に関する問い合わせには応じられません。

5 共通テストの科目の取り扱い

※過年度の成績は使用できません。

「令和6年度大学入学共通テスト」(以下、共通テスト)で受験した科目の成績を、共通テスト方式、共通テスト併用方式、共通テスト+面接方式で合否判定に使用します。本学の入学試験で使用できない科目や必要以上の科目数を受験しても構いませんが、出願する入試方式において定められた共通テストの科目を必要数受験してください。科目が不足する場合は合否判定の対象外となります。また、使用する科目を出願時に届け出る必要はありません。「高得点科目採用」は、各入試方式において定められた共通テストの科目を受験していれば高得点の科目から自動的に採用されます。

それぞれの入試方式で定められた科目の配点と共通テストでの配点異なる場合は得点換算を実施します。

■外国語

共通テストの「英語」は、【リーディング】(100点)と【リスニング】(100点)が出題されます。本学の入学試験では、下記(1)(2)のように取り扱います。

- (1) 【リーディング】100点満点を140点満点に、【リスニング】100点満点を60点満点に換算した合計で200点満点として取り扱います。
- (2) 各入試方式では、上記(1)により換算された得点を、当該の入試方式の配点に換算します。
また、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」もすべての学部で使用できます。

■国語

共通テストの「国語」は、近代以降の文章(2問100点)、古典[古文(1問50点)、漢文(1問50点)]で構成されています。本学の入学試験では、下記(1)(2)のうち高得点となる方を自動的に採用し、各方式の点数に換算します。なお、(1)(2)の採用について事前申請等は不要です。

- (1) 「近代以降の文章」と「古文」を合わせた150点満点を200点満点に換算。
- (2) 「近代以降の文章」「古文」「漢文」のすべてをあわせた得点で200点満点。

■数学

共通テストの「数学」は、数学①と数学②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。本学の入学試験では、数学①は「数学I・数学A」、数学②は「数学II・数学B」の得点を使用します。使用できる科目および使用方法是各入試方式のページで確認してください。主な使用方法是以下の通りです。

- (1) 「数学I・数学A」「数学II・数学B」から高得点1科目…高得点の1科目のみ採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。
- (2) 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」…いずれの科目も採用候補とします。そのうえで各入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

■地理歴史・公民

共通テストの「地理歴史・公民」は1科目または2科目を選択して受験できます。本学の入学試験では、地理歴史(「日本史B」「世界史B」「地理B」)と公民の得点を使用します。なお、公民科目の得点は下記のように使用します。〈「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目〉

※2科目を受験していても採用は最高点1科目のみとします。

■理科

共通テストの「理科」は、以下の通り理科①と理科②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。

理科①:「物理基礎」「化学基礎」

「生物基礎」「地学基礎」

理科②:「物理」「化学」「生物」「地学」

理科①および理科②については、以下の選択方法を共通テスト出願時に申し出ることになっています。

- A: 理科①から2科目
- B: 理科②から1科目
- C: 理科①から2科目および理科②から1科目
- D: 理科②から2科目

理科①の「『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目」は、2科目の合計点を1科目の得点とみなして使用できます。

過年度の一般選抜試験問題を立命館アジア太平洋大学の入試情報サイトで公開しています。

受験生サイトAPUmate

<https://www.apumate.net/>

英語

全方式共通

(出題内容・形式・配点)

内容	形式	配点	試験時間
I 長文総合問題	マーク	29	80分
II 長文総合問題	マーク	31	
III 会話文	マーク	24	
IV 文法・慣用句	マーク	16	
V 語句選択英文完成	マーク	20	
合計		120	

*合計点が各学部(専攻等)および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

【各設問の方針と内容】(全日程共通)

I 750~850 語程度の英文をもとにした、大意把握と内容理解の力を試す問題である。[1]は、英文の意味・内容に関する問いが英語で提示され、[2]は、与えられた5つの文が英文の内容と一致するか否か、あるいは英文の内容からだけでは判断できないかを問う、より正確な内容理解を試す問題である。[3]は、英文を総合的に理解しているか(主旨の理解ができていないか)を問う。

II 750~850 語程度の英文の内容理解を試す問題で、細部の正確な理解が要求される。[1]は文中の空所に当てはまる語(句)を選ぶ問題である。空所の直前・直後だけでなく、英文全体の話の流れを正確に把握する必要がある。[2]は英文の中の代名詞などの語(句)が、何を指しているか、何を意味しているかを、選ぶ問題である。何かを指示する語(句)が具体的に何を意味しているのかを意識的に考えながら読むことによって正確な理解ができていないかを試す。

III 二人の対話文をもとにした問題である。対話中の空所を埋めるのもっとも適当な表現を選択肢から選ぶ形式である。さまざまな場面で、話の流れを正確に掴みながら話し手の意向や気持ちなどを理解することができるか、また、適切な表現で応答し必要な情報を伝えることができるかを試す。人との関係を円滑にする(挨拶や呼び掛けなど)、相手の行動を促すなど、いろいろな言語の働きをする英語表現に親しんでおくことが必要である。

【出題の基本方針】

本学の諸学部において教育を受けるにふさわしい、基本的な英語力を備えた受験者を選抜するために、高等学校卒業段階で到達すべき英語力を公正に測定できる内容で出題することを基本方針とした。

IV 文法事項に関する問題である。空所を埋めることによって英文を完成させる問題である。基本的なものを中心に、動詞、副詞、形容詞、接続詞、前置詞など様々な品詞に関して、適切な英語で表現する力を試す。

V 語彙に関する問題である。[1]は英文の空所を埋めるのもっとも適当な単語を選ぶ形式で、文脈から語を導き出す問題であり、[2]は、文中の下線部と同じ意味の語を選択する同義語の問題である。教科書に出てくるような基本的語彙をはじめ、自立した英語使用者に必要な語彙を幅広く身につけておくことが期待される。単に単語の意味を知っているのではなく、その単語が英文の中でどのように使われるか、連語関係などにも注意を払いながら学習しているかが試される。さらに、その単語を他の単語で置き換えることができるかどうか試されている。一つの単語に対する一段と深い理解が必要となる。

学習のポイント

- 文章全体の構成に注意を払いながら、論理の流れを理解すること。文章の大意を取ることができたら、今度は一つ一つのパラグラフが何を言っているのかをキーワードなどを使って短い語句で示し、掴みながら、次のパラグラフに進んでいく。そうすれば、細かい部分も正確に把握できるし、論理的な流れも正確に掴めるはずである。英文を効率よく、正確に読むためには、日頃から精読と多読をバランスよく行うことが大切である。文章を要約する練習も効果的だろう。
- 会話文や慣用的な表現には、普段からインターネット上にある会話ビデオや映画などを活用して、楽しみながら親しもう。面白い表現などをノートに取って見直すのも役に立つだろう。1週間や1ヶ月毎に最初から見直し、実際に口に出して言うことも大切である。同じ状況に遭遇すれば、自然に言葉が出てくるだろう。
- 語彙は言語習得の基礎中の基礎である。CD やDVD のついている単語集やインターネット上にある単語学習プログラムなどから気に入ったものを選び、耳で聞き、同時に口ずさみ、目で確認し、意味を考えながら書くなど、すべての感覚を使って覚えると効果的である。そうすれば、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの力を総合的に伸ばすことにもつながる。文脈の中で覚えることも大切である。文章や会話の中で単語がどのように使われているのかを意識しながら覚えていくとよい。

国 語

前期方式・英語重視方式

(出題内容・形式・配点)

内 容	形 式	配 点	試験時間
一 現代文	マークと記述を併用	45	80分
二 現代文	マークと記述を併用	15	
三 古文	マークと記述を併用	40	
合 計		100	

(問題選択について)

方 式	学 部	解答する問題
前期・英語重視	アジア太平洋 国際経営 サステイナビリティ観光	一、二、三

*合計点が各学部および各入試方式の科目の配点と異なる場合は、得点換算を行います。

【出題の基本方針】

高等学校の学習を基礎としつつ、大学入学後の学びをスタートするにあたって必要なレベルの文章読解力を問うように問題文を選び、出題している。現代文では、文章全体の流れの中で語句を適切に理解しながら、文章の読解が進み、主題の把握へとつながるように問いの順番を考慮して出題した。古文も文章全体の趣旨を正確に理解できるかどうか、受験生の読解力を問う問題を中心に問題を出題し、読解の前提である文法や語彙などの基礎知識の習得がなされていることを確認するための問題も出題している。

学習のポイント

- 学習にあたっては、まず、文章全体の大意を把握し、そのうえで、文章の構成や、個々の文章・語句の位置づけを理解できるよう心がけること。
- 現代文では、特に評論文で使われる概念や比喩的な表現の理解が必要となる。普段から評論文を読み、頻出概念や比喩的な言い回しに慣れておくこと。ある程度の長さの評論文を短時間で理解する訓練をすること。
- 筆者独得の表現や考えが展開されることもある。先入見にとらわれず、文章中のキーワードを把握し、文章が示しているものを的確に理解することを心がけてほしい。
- 繰り返しや言い換えなどで強調されている箇所が作者の主張したい内容であることが多い。文章の趣旨を理解するうえでの重要なポイントとして注目すること。
- 語彙・句法・表現技法などについては、普段から評論文に親しみ、初見の語句は辞書で調べる習慣を身につけたい。漢字については、同音異義語に注意するほか、丁寧かつ正確に書くように普段から心がけること。
- 文学史については、単なる作者や作品名の暗記ではなく、文学史の流れとして学習しておくこと。
- 古文は、基礎的な語彙や文法についての知識を身につけ、正確に意味を読み取れるように心がけること。主語となる動作の主体が誰か、敬語表現にも留意して丁寧な読解を心がけること。日記や物語の中の和歌の技法・形式についても注意しておくこと。

国 語

共通テスト併用方式・後期方式

(出題内容・形式・配点)

内 容	形 式	配 点	試験時間
一 現代文	マーク	50	80分
二 現代文	マーク	50	
合 計		100	

【出題の基本方針】

文章を論理的に読解できる力があるかどうかを問うことに重点を置き、現代社会の諸事象や言語・文化・思想・歴史をテーマとした論理性・批判性のある文章を選び、大問2題構成とした。

学習のポイント

- 論理的な文章を読解するためには、まずは、文脈の中で語句の意味を理解し覚えること、また、論理的に思考するためのツールとして概念語(抽象語)が使いこなせること、さらには文章の構造を大局的・俯瞰的に把握でき、筆者の思考や論理の道筋を正確にたどれることが必要である。
- さまざまな話題に興味・関心を持ち、教養書や新聞の社説・文化欄なども意欲的に読み、幅広い読書を通して、精密で批判的な思考を可能にする豊かな概念と語彙を養ってほしい。また、偏りのない判断や批判的思考が可能となるよう、ことばを自覚的に運用できる力を身につけることも心がけてほしい。

選択科目

政治・経済

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 社会保障制度の歴史	記述	35	80分
II 国民経済の規模	記述	35	
III 貧困と経済援助	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

基本的な出題形式は大問3つ、内訳は政治2問+経済1問、または、政治1問+経済2問の組み合わせである。もっとも、政治と経済は密接な関係にあることから、政治と経済の複合的な大問となる場合もある。教科書に準拠しつつ、受験生のより広い知識・思考力・判断力を問うことを基本方針とした。

学習のポイント

- 基本的な出題範囲は、教科書、資料集、ならびに用語集である。教科書は複数の出版社から刊行されており、ある出版社の教科書にある記述が、別の出版社の教科書には無い場合もある。また、ある記述が1社の教科書のみの場合もある。したがって、資料集や用語集などで補充することが必要である。また、各教材中の「図表」「グラフ」「年表」などについても、細部まで目を配ることが必要である。さらに、教科書に記述のない新しい時事問題についても、日頃からニュース等を通じて理解し、知見を深めることが望まれる。

選択科目 日本史

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 東北地方における支配の変遷	記述	30	80分
II 荘園の変遷	記述	30	
III キリスト教伝来による影響(中世～近世)	記述	40	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書(『日本史B』)に準拠することを大原則とし、特定の教科書のみに取り上げられた事項は極力避けることを心がけ、原始・古代～近現代の全時代・全分野をカバーする出題を全日程を通して行うことを基本方針とした。また歴史用語の単純な暗記に終始することなく、時代観や歴史像をイメージさせる出題を心がけた。

学習のポイント

- まずは、教科書の本文を中心に、各時代と分野の歴史の展開を把握し、時代観・年代観を養うことが肝要である。
- 漠然と、古代の、近代の、といった括りでなく、原始は先史・縄文各期・弥生各期・古墳時代各期の特性を体系的に把握すること、古代～近世、19世紀前半までの時代は各世紀を把握すること、1850年代の幕末・明治維新时期以降は1860年代、70年代といった10年ごとの展開を把握することが重要となる。言うまでもなく、この学習を効率的に進めるには、年表の活用が必須である。市販のものを利用するのもよいが、自身でオリジナルな年表を大学ノートに作成し、徐々に内容を充実させて、折に触れ目にするように心がければ、自ずから時代観・年代観が養成されることになる。また、年次を伴わない、各時代の代表的な文化財等については、該当する年表の箇所に、表にまとめておくのが効果的である。
- 最終的には、正確な年次と歴史用語の漢字の表記が要求されることになるから、ケアレスミスを防ぐという意味合いからも、必ず書いて覚えるように心がける必要がある。

選択科目 世界史

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 現代中国を構成する諸民族の歴史	記述	20	80分
II 明王朝の国際関係	記述	20	
III 古代ギリシアの歴史	記述	30	
IV 南北戦争とアメリカの発展	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高等学校における標準的な学習により世界史の知識を習得しているかを問うため、基本的に教科書・用語集・資料集に記載されている範囲から出題した。また、大学での授業を理解するにふさわしい文章読解力と論理的思考力が身につけているかを試すため、リード文の内容を正確に理解した上で解答する形での出題を心がけた。

学習のポイント

- ある歴史上の出来事について、それが発生した直接的な原因だけでなく、それが発生した歴史的背景、さらにその出来事が次の歴史展開にどのような影響を与えたのかについても良く理解しておく必要がある。歴史を流れとして理解するためには教科書を何度も読み返した上で、教科書より少し詳しい参考書を読むのがよい。
- 世界史の学習に際して、ある時代・地域の歴史展開を地理的にイメージできるようにしておくことも重要である。教科書などを読みながら図版でその地理的展開を確認するとイメージを形成しやすい。
- 世界史学習そのもののポイントではないが、受験本番で問題を解く際には問題文をしっかり読み込むこと。世界史の出題では、問題文全体の内容理解を前提として設問(空欄)を考えさせるという出題を心掛けているので、空欄の前後だけでは正答にたどり着けないことも多い。文章読解力は大学入学後に最も必要となる学力の一つでもあるので、日頃から内容をしっかりと考えながら文章を読む練習をしておくことが必要である。

選択科目 地理

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 地形図の読解	記述	35	80分
II 世界の河川	記述	30	
III 経度・緯度からみる生活	記述	35	
合 計		100	

【出題の基本方針】

教科書・地図帳・副教材・統計資料に掲載されている諸事実を、地図ないし現実の地理に即して体系的に理解しようと努める受験生が力を発揮することのできる出題である。単に地理用語を記憶するのではなく、地表上の諸現象を知識として身につけた上で、それらを相互に関係づけて理解しているかどうかを問うている。教科書を基本とすることは当然であるが、現代世界の状況にも関心を持ち、それらを地理的な事象と関連付けることのできる応用力を有しているかも積極的に問うた。

学習のポイント

- 教科書全体を熟読し、内容を適切に理解するとともに、地名・語句は正しく表記できるようにし、地域や地名については、地図帳を用いて位置を正しく把握すること。また、統計データやグラフ・表などの資料が掲載されている場合には、それらを読み取ることのできる理解力を養うことが必要である。
- 地図帳のみならず、地形図や「地理院地図」などのウェブ上の地図にも日常的に親しんでおくこと。地形図ないし「地理院地図」を用いた身近な地域の観察を通じて、地図を読み解く力は高まる。
- 多様なメディアで報じられる日々のニュースには、系統地理や地誌と関わる事項が多分に含まれている。新聞だけをとり、世界の特定地域の地図が毎日のように掲載されている。現代社会の状況にも関心をむけて、地理的な理解力を育む努力も欠くことはできない。

選択科目 文系数学

(出題内容・形式・配点)

*出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分です。

内 容	形 式	配 点	試験時間
I 3次関数の応用、図形と計量、数列	記述	40	80分
II 確率・対数・微分	記述	30	
III 確率・漸化式	記述	30	
合 計		100	

【出題の基本方針】

高校数学における数学I、数学A、数学II、数学B（ベクトルと数列）の学習指導要領の範囲内において、受験生の基礎知識の習得を確認すると共に、その基礎知識を応用する力、論理的な思考能力、そして文章を読み取り、その状況を数学を用いて表現する力をみる問題を出題した。公式をそのまま使って解くような基本問題は最小限にとどめ、解答に工夫が求められる応用問題を中心に、数学I、II、A、Bの各分野から満遍なく出題した。

学習のポイント

- 教科書の内容を徹底的に学習し、基礎・基本を身につけることが何より重要である。併せて、発展問題にも挑戦することで、思考力や洞察力を養うことが大切である。
- 定義や公式の単純な適用では解けないような複雑な問題に対応するためには、定義や公式を単純に暗記するだけでなく、それらの意味や導出過程、構造を深く理解することが大切である。
- 文章の読解力や表現力といった国語力を高める必要がある。大問IIでは長い文章を丁寧に読み解く力が、大問IIIでは解答のプロセスを論理的に記述する力が試される。普段から新聞や書籍を読み、論理的な文章を書く訓練を日々繰り返すことが肝要である。
- 社会的な様々な問題を数学的に表現することで、問題の本質を抽象化し、洞察し、考える問題を大問IIでは出題している。社会問題にも関心を持ち、それについて考える習慣を持ち、幅広い教養を身につけることは、どの教科においても大切である。
- 文字を丁寧に正確に書くことを習慣づける。一般に答案とは、採点する人に、自分の思考過程やその結果を評価してもらうものである。

秋期・総合評価方式・論述型

日本語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 文章を読解し、その内容を踏まえて、自身の考えや意見を論理的に分かりやすく表現し、構成する力に自信のある方
- 様々な分野の文章に親しみ、豊かな思考経験をされてこられた方
- 将来の目標を持ち、目標を踏まえて入学後の具体的な学修計画を立てて、意欲的に取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査 +

筆記試験／オンライン

社会で生起する様々な問題に関する評論文・エッセイ等の課題文を読み、小論文を作成（試験時間90分、記述量1,200字）



選考・評価のポイント

〈出願書類〉

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性や説得力

〈筆記試験（小論文）〉

- 課題文に対する読解力
- 論理的思考力
- 文章表現力

など

第1次選考
合格者

■第2次（最終）選考

個人面接／オンライン（20～30分）



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考		第2次（最終）選考	合格発表日
		試験日	結果通知日	試験日*	
第1回	2024年 3月8日（金）～3月21日（木）	4月6日（土）	4月19日（金）	4月27日（土）	5月7日（火）

*第2次（最終）選考の試験日時は、本学が指定します。

※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます（同日実施の方式でも併願できます）。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)(2)の両方に該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業または2024年9月20日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。

この方式の対策は？

- 志望理由書は「なぜAPUで学ぶのか」「あなたの将来とAPUの学びはどう繋がるのか」などについて、自分の考えを整理しましょう。
- 小論文対策をしっかりとしてください。
本学の小論文は一般的な「小論文試験」と言われるものと大きな違いはありません。高等学校等での学習にしっかりと取り組むことに加えて、普段からご自身の興味関心に合わせて、本や新聞を読んでおくことが重要です。その上で、自分の考えを文章にまとめること、またそれを誰かに読んでもらい批評してもらうことも対策になるでしょう。また課題文の内容やポイントを正確かつ素早く把握することも重要です。設問の意図を理解して、自分の主張を論理的に表現する練習をしましょう。
- 面接では志望理由も大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。



過去の出題例は
こちら

秋期・活動アピール方式

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。
※海外で就学された方も受験可

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 中学校卒業以降、自身が熱心に打ち込まれた活動を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 中学校卒業以降、海外留学等の国際経験、語学、探究、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなど、様々な分野で高い活動実績や優れた活動を行われた方
- 意欲的な取り組みにより培われた能力や経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」を英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心、入学後の学修等に対する意欲・熱意、記述の論理性・説得力
- 言語能力
- 探究、学業、文化、芸術、スポーツ、ボランティアなどの分野における活動成果
- 海外での学習成果 ● 取得資格等の水準
- エッセイ：高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など

第1次選考
合格者



■ 第2次(最終)選考

個人面接/オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるか など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終)選考	合格発表日
			試験日*	
第1回	2023年 10月20日(金)~11月2日(木)	11月24日(金)	12月2日(土)または 12月3日(日)	12月12日(火)
第2回	2023年 2024年 12月22日(金)~1月11日(木)	2月9日(金)	2月17日(土)	2月27日(火)
第3回	2024年 3月8日(金)~3月21日(木)	4月19日(金)	4月27日(土)	5月7日(火)

*第1回の第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)~(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者、または2024年9月20日までに卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 中学校卒業以降、P10 表1 ①~⑦のいずれかまたは複数の優れた活動に取り組まれた方。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。
 - ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
 - ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
 - ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者など十分な英語力を有していると本学が認めた者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
P.6へ

この方式の対策は?

- 3ヵ月以上の短期留学でもアピールできます。留学で伸ばした語学力も資格をとってアピールしましょう。
- 語学の資格とクラブ活動での入賞など、複数の活動実績をアピールすることもできます。
- 学校または自主的に取り組んだ探究活動を研究会等で発表した経験があればアピールしましょう。
- 語学の資格がなくても他の活動で実績があれば積極的にアピールしましょう。
- エッセイは、自らを振り返り、経験を通じて成長したことや困難をどの様に乗り越えることができたかなどを具体的に表現しましょう。
- 面接では志望理由や活動のアピールも大事ですが、普段から社会情勢などにアンテナを張って自分の意見を表現する練習もしましょう。

秋期・帰国生徒(海外就学経験者)選抜

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部・学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を
受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 日本とは言語や文化の異なる国・地域における学修・生活経験を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 日本国外において正規の教育制度に基づく学校で2年以上の教育を受けた方
- 日本とは言語や文化の異なる国・地域における学修・生活経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合は、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。

第1次選考 合格者

■第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 海外における経験の豊かさとその成果
- 高等学校に相当する課程での学習成果
- 言語能力の水準
- エッセイ・高校時代の学習や課外活動における成果とその振り返り など



選考・評価のポイント

- APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができる など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次(最終) 選考試験日*	合格発表日
第1回	2023年 2024年 12月22日(金)～1月11日(木)	2月9日(金)	2月17日(土)	2月27日(火)
第2回	2024年 3月8日(金)～3月21日(木)	4月19日(金)	4月27日(土)	5月7日(火)

*第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

日本国籍を有する者(日本に永住権を持つ者を含む)であって、次の(1)～(3)のすべてに該当する者。また、英語基準出願者は(4)も満たすこと。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者、または2024年9月20日までに卒業または卒業見込みの者等、大学入学資格を有する者。
- (3) 外国において、正規の教育制度に基づく中学校・高等学校(Grade7以上)にあたる課程で2024年9月20日までに通算2年以上の教育を受けた、または受ける見込みの者。

[英語基準出願者のみ]

- (4) 英語能力に関して次の①～③のいずれかに該当する者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア
※P.6へ

 - ① TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。
 - ② International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
 - ③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目(言語教育科目を除く)を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

この方式の対策は?

- 志望理由書、エッセイの作成時や面接では、日本国外で生活をし、教育を受けたことでどのような成長ができたのかをよく考えましょう。
- APUに入学した後で、自分の経験をどのように活用するのか考えてみましょう。
- 居住していた国や地域で使用していた言語の資格を取得していれば積極的にアピールしましょう。

秋期・国際バカロレア (IB) 選抜

日本語
基準

英語
基準

優秀者
奨学金

併願
可

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 国際バカロレア (IB) のディプロマ課程における活動を通じて、大きな成長を遂げた自信のある方
- 国際バカロレアのディプロマ (IB Diploma) の取得者または入学までに取得見込みの方
- 国際バカロレア (IB) のディプロマ課程を通じて培われた能力や経験を活かし、入学後の学修および正課外活動の充実に向け取り組みたい方

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合、「志望理由書」と「エッセイ」は英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 志望学部への興味・関心
- 入学後の学修等に対する意欲や熱意、記述の論理性や説得力
- 課題論文 (EE:Extended Essay) の内容
- IB Predicted Grades など

第1次選考 合格者



■ 第2次 (最終) 選考

個人面接 / オンライン (約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 課題論文 (EE:Extended Essay) 等の出願書類をもとに、APUの多文化教育・生活環境やリソースを積極的に活用し、学び成長することができるかや探究的な物の見方や考え方 など

※IBDPスコアを含む書類審査での成績が大変優秀な方のうち、国内学生優秀者育英奨学金の受給を希望しない方は、面接を免除して、書類審査のみで合格とします。

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間 (最終日消印有効)	第1次選考 結果通知日	第2次 (最終) 選考試験日*	合格発表日
第1回	2023年 10月20日 (金) ~ 11月2日 (木)	11月24日 (金)	12月2日 (土) または 12月3日 (日)	12月12日 (火)
第2回	2024年 3月8日 (金) ~ 3月21日 (木)	4月19日 (金)	4月27日 (土)	5月7日 (火)

*第2次 (最終) 選考の試験日時は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます (同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

次の(1)~(3)のすべてに該当する者。

- (1) 出願学部に対する関心と学修意欲を十分に備えた者。
- (2) International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得した者または2024年9月20日までに取得する見込みの者。
- (3) 英語能力に関して次の①~③のいずれかに該当する者。

① International Baccalaureate (IB) のディプロマを英語で取得または取得見込みの者。

② **[日本語基準出願者]**

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 42点相当以上のスコア [P.6](#)へ

[英語基準出願者]

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test 75点相当以上のスコア [P.6](#)へ

③ 日本の中学校と高等学校の課程に相当する期間に受けた教育の原則全科目 (言語教育科目を除く) を英語で受講した者や英語を母語とする者等、十分な英語力を有していると本学が認めた者。

2024年9月20日までに、International Baccalaureate (IB) のディプロマを取得できなかった者は、合格した場合であっても入学資格を取り消します。

この方式の対策は?

- International Baccalaureate (IB) のディプロマ取得に至る学びについて、説得力をもって説明できるようにしておきましょう。
- APUに入学した後で、自分の学習経験をどのように活用するのか考えてみましょう。

編入学試験・転入学試験

サステナビリティ観光学部は
2回生転入学のみ対象

編入学試験・転入学試験

日本語
基準

英語
基準

詳しくは、入学試験要項で
確認してください。

4月入学

9月入学

目的

本入学試験は、志望される各学部の学問分野への関心や入学後の学修等への意欲が高く、入学後の成長可能性に満ちた方を受け入れることを目的とし、特に次の特徴をお持ちのみなさんの入学を期待します。

- 在籍中または、在籍していた教育課程における学びを通じて成長を遂げられた方
- これまでの活動や教育過程における学びを踏まえて、入学後の学修および正課外活動の充実に向け、適切に計画を立て意欲的に取り組む準備が整っている方

選考方法

■ 第1次選考

出願書類による審査

※英語基準で出願する場合、「エッセイ」は英語で作成してください。



選考・評価のポイント

- 編入学後・転入学後の学修への意欲
- 専門領域に対する興味・関心
- 在籍高等教育機関等での学業成績
- 言語能力の水準

など

第1次選考 合格者

■ 第2次(最終)選考

個人面接／オンライン(約20分)

※英語基準で出願する場合、面接は英語で行います。



選考・評価のポイント

- 入学後の学修および正課外を含む
学生生活全般への意欲
- 応答の的確性

など

出願期間 試験日 合格発表日

募集区分	出願期間(最終日消印有効)	第1次選考結果通知日	第2次(最終)選考試験日*	合格発表日
4月入学	第1回 2023年 9月1日(金)～9月14日(木)	10月13日(金)	10月21日(土) または10月22日(日)	11月1日(水)
	第2回 2023年 10月20日(金)～11月2日(木)	11月24日(金)	12月2日(土) または12月3日(日)	12月12日(火)
9月入学	第1回 2024年 3月8日(金)～3月21日(木)	4月19日(金)	4月27日(土)	5月7日(火)

*第2次(最終)選考の試験日時は、本学が指定します。
※募集区分が異なれば、複数回受験することができます。
※出願資格を満たす他の入試方式と併願できます(同日実施の方式でも併願できます)。

出願資格

※詳しくは、
入学試験要項で
確認してください。

出願資格1(学修歴)および出願資格2(言語能力)の両方を満たす者。

出願資格1(学修歴)

APS: アジア太平洋学部 APM: 国際経営学部 ST: サステナビリティ観光学部

	編入学	対象学部		
		APS	APM	ST
2回生	次の①②のいずれかに該当する者。 ①短期大学・高等専門学校を卒業または卒業見込み*の者。	●	●	-
3回生	②文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校専門課程を修了または修了見込み*の者。 ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。	●	●	-
転入学		対象学部		
		APS	APM	ST
2回生	大学に1年以上在学し30単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に1年以上在学し卒業に必要な単位数の1/4を修得済であること、またはその見込み*であること。	●	●	●
3回生	大学に2年以上在学し60単位以上を修得している者、またはその見込み*の者。なお、日本国外の大学の場合は、大学に2年以上在学し卒業に必要な単位数の1/2を修得済であること、またはその見込み*であること。	●	●	-

※(4月入学)2024年3月31日までに (9月入学)2024年9月20日までに

出願資格2(言語能力)

【日本語基準入学】

- 2回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 55点相当以上のスコアを持つ者。
- 3回生編入学・転入学：出願時点でTOEFL iBT® Test 61点相当以上のスコアを持つ者。

【英語基準入学】

- 編入学・転入学(2回生・3回生)：出願時点でTOEFL iBT® Test 85点相当以上のスコアを持つ者。

TOEFL iBT® Test の各スコアに相当する成績
※P.6へ

最終の成績証明書の提出がない場合は、通知した認定予定の単位数が変わる可能性があります。

入学検定料／入学手続時納付金／学費

入学検定料

入学検定料は入試方式により異なります。

入試区分	入試方式	1出願あたりの入学検定料額	
総合型選抜 帰国生徒(海外就学経験者)選抜 国際バカロレア(IB)選抜 秋期入学試験 編入学試験・転入学試験	総合評価方式・探究型・論述型(第1回・第2回)、活動アピール方式、 秋期・総合評価方式・論述型、秋期・活動アピール方式	第1次選考:10,000円 第2次選考:25,000円	
	総合評価方式・論述型(第3回)、帰国生徒(海外就学経験者)選抜、 国際バカロレア(IB)選抜、秋期・帰国生徒(海外就学経験者)選抜、 秋期・国際バカロレア(IB)選抜、編入学試験・転入学試験	35,000円	
一般選抜	前期方式、英語重視方式、共通テスト併用方式、共通テスト+面接方式	35,000円	
	後期方式	1出願	35,000円
		2併願目以降	(上記に加えて)各10,000円
	共通テスト方式(後期型を含む)	1出願	18,000円
2併願目以降		(上記に加えて)各10,000円	

入学手続時納付金

入学手続は、オンライン入学手続サイトから入学手続情報を登録し、所定の期間内に「入学手続時納付金(第1次・第2次)」を納入するとともに、入学手続書類を提出することで完了します。入学手続に関する詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」でお知らせします。

■入学手続時までに必要な納付金 ※1回生新入学全学部共通

入学手続時納付金 [4月入学・9月入学 共通]	
第1次入学手続時納付金	第2次入学手続時納付金
入学金	第1 Semester 授業料A・ 授業料Bおよび諸会費
200,000円	690,000円

以下の入試方式で合格した方
●後期方式 ●共通テスト+面接方式 ●共通テスト方式後期型(4科目型・5科目型・3教科型) ●総合評価方式・論述型(第3回)
第1次入学手続時納付金・第2次入学手続時納付金 および諸会費一括納入
890,000円

学費



*入学金・授業料は改定されることがあります。

最短修業年限までの年間授業料額(見込額)				
	1回生時	2回生時	3回生時	4回生時
1回生入学	¥1,300,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
2回生入学	—	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000
3回生入学	—	—	¥1,500,000	¥1,500,000

要卒単位数を超える単位の修得や5回生以上の場合

- 最短修業年限内に卒業に必要な単位(124単位)を超える単位を登録・取得した場合でも、追加して授業料を支払う必要はありません。ただし、特定のプログラムの履修に際して別途費用が必要になる場合もあります。
- 最短修業年限を超えて5回生以上になった場合の授業料は、授業料Aの半額と受講登録した単位数分の授業料(22,500円×登録単位数)が必要です。

奨学金制度

立命館アジア太平洋大学では、本学独自の奨学金や、「日本学生支援機構奨学金」をはじめとする奨学団体や地方公共団体などの奨学金を取り扱っています。

それぞれの奨学金は、趣旨・対象・金額・募集の有無・募集時期などに相違があります。奨学金の受給を希望されるみなさんは、各種制度の内容をよく理解し、自らの学生生活の設計をしっかりと立てた上で出願してください。

(1) 本学独自の奨学金制度

入学試験合格者のうち、成績および提出書類についての評価が優秀なものに支給される奨学金

国内学生優秀者育英奨学金

対象入試：4月・9月入学 国内学生入学試験（1回生新入学）※編入学・転入学試験は対象外

採用人数：最大37名（過年度実績）

金額：授業料の全額に相当する額

支給期間：4年間 ※ただし、セメスター（学期）ごとに継続審査あり

支給方法：授業料の納付額に充当

申請方法：入学試験の出願時に受給を希望する旨を申告し、英語能力を示す資料を提出すること。

採用者選考・決定：入学試験成績および提出書類を総合的に審査のうえ対象者を決定し、合格発表と同時に採用者に通知。

※一般選抜入学試験で奨学金受給を希望する場合は、入学試験における外国語科目を対象とするため、英語能力を示す資料の提出は必要ありません。

※国内学生経済支援授業料減免との併給はできません。

※「対象とする英語能力試験」

TOEFL iBT[®]、IELTS (Academic Module)、TOEIC[®] (L&R/S&W)、実用英語技能検定、TEAP、TEAP CBT、GTEC、ケンブリッジ英検、PTE Academic

・英語能力に関する試験結果は、証明書に記載された受験日が2021年10月1日以降のものを有効とします。

・TOEFL iBT[®] Testは、TOEFL iBT[®] Home Editionも対象とします。Test Data Scoresに加え、MyBest[™] Scoresでの出願も可能です。

・実用英語技能検定は、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewも含まれます。また、受験の可否によらず、英検CSE2.0スコアに基づき評価します。

・GTECは、オフィシャルスコアに限ります。

・ケンブリッジ英検はリンガススキルも含まれます。

※詳細は、入学試験要項をご確認ください。

経済支援を目的とした、入学後に申請できる奨学金

国内学生授業料減免制度

対象：在学生のうち、所定の応募資格（世帯収入や学業成績など）を有するもの

金額：授業料の半額に相当する額

※ただし、国が実施する高等教育の修学支援制度による授業料減免を受ける場合は、その減免額が上記金額に満たない部分について減免を行います。

支給期間：最大4年間（最短修業年限内）※ただし、1年に1回の継続審査あり

支給方法：学費請求時に奨学金の支給額を授業料と相殺

申請方法：入学後（4月・10月）に申請期間を設けます。詳細は入学後の案内をお待ちください。

APハウス入寮者に対する入学後の経済支援を目的とした奨学金

国内学生寮費減免制度

支援対象：2024年度国内学生入学試験（1回生新入学）を受験し、入学を許可されたAPハウス入寮者

申請資格：日本学生支援機構の給付型奨学金制度の予約採用申請を行い、「令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知」を受けていること

採用人数：60名 ※給付型奨学金受給者がすべて採用されるわけではありません。

支援内容：APハウスの月額寮費の11ヵ月分の半額を減免

申請期間：2023年12月1日（金）～2024年1月31日（水）（消印有効）※4月、9月入学共通

申請方法：受験生サイトAPUmateで公開されている申請要項を参照の上、申請を行うこと

その他の本学独自奨学金

(内容は予告なく変更される場合があります)

名称	種別	資格／対象	採用人数(年間)	金額
安藤百福名誉博士奨励賞	給付	学部の3回生(5セメスター生)で次のいずれかを満たす者 ①学業成績優秀者 ②自主活動で顕著な成績を修めた者	4名以内	上限50万円
安藤百福名誉博士栄誉賞	給付	卒業予定者(8セメスター生)のうち、学業および課外活動で成績優秀かつ意欲的な進路の目標を掲げている者	4名以内	上限100万円
優秀学生奨励金	給付	所定の単位を修得し、かつ各学部、各セメスター学年において当該セメスター期の学業成績が最も優秀な者	30名程度	上限10万円
自主活動奨励金	給付	自主的諸活動において顕著な成果を修めた個人または団体	予算の範囲内で定める	団体上限10万円 個人上限5万円
国内学生経済支援授業料減免	給付	主たる家計支持者の死亡、失職等で家計が急変し、学業の継続が困難となった者(入学後の急変のみ対象)	20名以内	授業料の50%減免
A P U 国内学生保護者会 修学援助奨学金	給付	国内学生経済支援授業料減免に採用された学生の内、APU国内学生保護者会会員子女	20名以内	20万円

(2) 本学以外の奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金については、合格者に送付する入学手続要項で申込の詳細を確認してください。

第一種奨学金	
種類	貸与型・無利子
金額	自宅通学者 「最高月額」：54,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円から選択できます。 自宅外通学者 「最高月額」：64,000円 「最高月額」以外の金額：20,000円、30,000円、40,000円、50,000円から選択できます。
出願資格	学力基準：高等学校最終2か年の成績(評定平均値)が3.5以上(高等学校卒業程度認定試験に合格し、上記に準じると認められる者を含む)または、前所属機関で成績優秀な者 家計基準：父母など家計を支えている者の年収(税込み)の上限 (例)4人世帯・自宅外通学者の場合 ●給与所得・・・「最高月額」受給対象者：年収810万円以内／「最高月額」以外受給対象者：年収853万円以内 ●給与所得以外の世帯・・・「最高月額」受給対象者：年収402万円以内 「最高月額」以外受給対象者：年収445万円以内 (この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。)
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。
第二種奨学金	
種類	貸与型・有利子(在学期間中は無利子、貸与利率は上限3%)
金額	(月額)20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択できます。
出願資格	学力基準：本学入学により学力基準を満たします。 家計基準：父母など家計を支えている者の年収(税込み)の上限 (例)4人世帯・自宅外通学者の場合 ●給与所得・・・年収1,196万円以内 ●給与所得以外の世帯・・・年収788万円以内 (この金額は目安です。家族の人数や世帯の状況などにより異なります。)
貸与期間	貸与開始月から卒業するまでの最短修業年限。受給の開始は申込完了後、最速2ヵ月後。

※緊急採用・応急採用奨学金：家計が急変した学生を対象に、随時出願を受け付ける制度があります。

※日本学生支援機構奨学金の2回生以降における募集は、毎春別途実施します。

給付型奨学金の申込方法や受給条件は日本学生支援機構のホームページで確認してください。

民間奨学財団奨学金(貸与または給付)／地方公共団体奨学金(貸与または給付)

- 奨学財団、地方公共団体によって内容が異なります。
- これらの団体の募集要項はAPUに募集依頼があり次第、スチューデント・オフィスのホームページに掲載します。
- 地方公共団体奨学金については、地方公共団体(都道府県など)の教育委員会へ直接問い合わせることをお勧めします。

入試結果データ

総合型選抜・特別選抜結果 [2023年4月入学]

■世界を変える人材育成入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	27	15	10
国際経営	27	14	6
サステイナビリティ観光	11	5	3
合計	65	34	19

■総合評価入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	120	97	60
国際経営	65	48	31
サステイナビリティ観光	42	32	19
合計	227	177	110

■国際バカロレア (IB) 入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	2	2	2
国際経営	2	2	2
サステイナビリティ観光	0	0	0
合計	4	4	4

■活動実績アピール入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	222	194	149
国際経営	122	109	83
サステイナビリティ観光	90	82	66
合計	434	385	298

■海外就学経験者 (帰国生) 入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	18	17	13
国際経営	16	15	14
サステイナビリティ観光	14	14	7
合計	48	46	34

秋期入学試験結果 [2022年9月入学]

■秋期・世界を変える人材育成入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	4	3	3
国際経営	1	1	1
サステイナビリティ観光	-	-	-
合計	5	4	4

■秋期・国際バカロレア (IB) 入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	3	3	3
国際経営	6	6	5
サステイナビリティ観光	-	-	-
合計	9	9	8

■秋期・活動実績アピール入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	17	15	12
国際経営	7	7	5
サステイナビリティ観光	-	-	-
合計	24	22	17

■秋期・海外就学経験者 (帰国生) 入試

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	15	13	11
国際経営	12	11	9
サステイナビリティ観光	-	-	-
合計	27	24	20

編入学試験・転入学試験結果

■2023年4月入学

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	3	3	3
国際経営	5	5	4
サステイナビリティ観光	-	-	-
合計	8	8	7

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

■2022年9月入学

学部	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数
アジア太平洋	1	1	1
国際経営	1	1	1
サステイナビリティ観光	-	-	-
合計	2	2	2

※表中の数値は、2回生編入学・転入学志願者と3回生編入学・転入学志願者の合計です。

一般選抜入試結果[2023年4月入学]

アジア太平洋学部 (APS)

入試方式	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	126	123	50	320	199	62.2%
英語重視方式	45	43	38	250	141	56.4%
共通テスト併用方式	61	59	44	300	192	64.0%
共通テスト方式(7科目型)	24	24	12	900	655	72.8%
共通テスト方式(5科目型)	34	34	22	1,000	731	73.1%
共通テスト方式(3教科型)	105	105	73	500	354	70.8%
後期方式	49	48	15	220	133	60.5%
共通テスト+面接方式	4	3	2	400	299	74.8%
共通テスト方式(後期型・4科目型)	3	3	2	800	587	73.4%
共通テスト方式(後期型・5科目型)	5	5	4	1,000	677	67.7%
共通テスト方式(後期型・3教科型)	7	7	5	500	367	73.4%

国際経営学部 (APM)

入試方式	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	167	156	64	320	180	56.3%
英語重視方式	53	50	38	250	146	58.4%
共通テスト併用方式	69	64	55	300	167	55.7%
共通テスト方式(7科目型)	26	26	17	900	592	65.8%
共通テスト方式(5科目型)	38	38	21	1,000	660	66.0%
共通テスト方式(3教科型)	90	90	59	500	329	65.8%
後期方式	64	63	13	220	142	64.5%
共通テスト+面接方式	6	6	3	400	286	71.5%
共通テスト方式(後期型・4科目型)	3	3	2	800	564	70.5%
共通テスト方式(後期型・5科目型)	4	4	4	1,000	677	67.7%
共通テスト方式(後期型・3教科型)	3	3	1	500	400	80.0%

サステナビリティ観光学部 (ST)

入試方式	志願者数	受験者数	合格者数	満点	合格最低点	得点率
前期方式	167	160	105	320	162	50.6%
英語重視方式	36	33	31	250	127	50.8%
共通テスト併用方式	41	37	37	300	148	49.3%
共通テスト方式(7科目型)	14	14	8	900	528	58.7%
共通テスト方式(5科目型)	22	22	17	1,000	600	60.0%
共通テスト方式(3教科型)	82	82	70	500	304	60.8%
後期方式	52	50	32	220	111	50.5%
共通テスト+面接方式	2	2	2	400	273	68.3%
共通テスト方式(後期型・4科目型)	5	5	4	800	552	69.0%
共通テスト方式(後期型・5科目型)	3	3	3	1,000	682	68.2%
共通テスト方式(後期型・3教科型)	7	7	6	500	367	73.4%

Q 総合型選抜、帰国生徒（海外就学経験者）選抜、国際バカロレア（IB）選抜は「専願」の入試ですか？

A 「専願」とはしていませんので、他大学との併願受験も可能です。

Q 複数の入試方式を併願できますか？

A 出願資格を満たしていれば、基本的に総合型選抜、帰国生徒（海外就学経験者）選抜、国際バカロレア（IB）選抜、一般選抜の間でも併願が可能です。総合型選抜、帰国生徒（海外就学経験者）選抜、国際バカロレア（IB）選抜については、試験日が他の入試方式と同日でも併願可能です（同一日に二つの試験を受験することになります）。ただし、出願書類は流用できません。それぞれの出願について出願登録を行い、必要書類は入試方式ごとに別々の封筒に封入して送付してください。一般選抜は、基本的に選考日程が重複しない場合は、併願可能です。（3月入試は一回の受験で複数学部を併願できる方式もあります）。

Q 英語外部資格試験のスコアをもっていないですが、入試では不利になりますか？

A 英語外部資格試験のスコアを保有している場合、加点要素になりえます。ただし、保有していない場合でも、学業成績や志望理由書・エッセイ等の出願書類、面接の評価によって合格する方も多くいます。なお、英語外部資格試験が出願資格となっている入試方式、基準言語については、スコアを保有しているとともに出願基準をクリアしていることが必要です。

Q 入試日程で有利になったり、不利になったりすることはありますか？

A 複数の試験日を設定している理由は、多くの受験生に受験機会を提供するためです。そのため、入試日程によって、有利、不利が生じることはありません。ただ、早い時期に受験をした場合、仮に不合格になっても再度チャレンジできるというメリットはあるかもしれません。

Q 奨学金を希望することで、不利になったりすることはありますか？

A 奨学金の希望有無は、合否に一切影響しません。また、国内学生優秀者育英奨学金等、本学の奨学金の受給対象となっても、他大学への受験、他大学への入学を制限することはありません。

Q APハウスは、一般的な学生寮とは何が違いますか。

A APハウスは、単なる「生活の場」ではなく、世界中から集まった約1,600人の学生が生活を共にし、国際交流や学び合いの場として進化を続ける1回生対象の国際教育寮です。世界各国・地域の学生たちが共同生活を行い、日常生活の中で国際感覚を養うことができます。

また、希望者は全員入寮することができ、2023年4月入学国内学生の約9割が入寮しました。APハウスは、キャンパスに併設されており徒歩で通学することができるため通学費はかかりません。その他、経済支援を目的とした国内学生寮費減免制度(P29)もあります。

APハウスの詳細は、APU公式ホームページやAPUmateなどで紹介している他、オープンキャンパスなどでは、APハウスの見学も実施しています。

APハウスについての詳細はこちら



その他、お問い合わせの多いご質問につきましてはこちらをご参照ください。





Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学
アドミッションズ・オフィス

〒874-8577 大分県別府市十字原1丁目1番
TEL:0977-78-1120(平日9:00~17:30)
FAX:0977-78-1199
Email: apumate@apu.ac.jp



受験生サイト APUmate
<https://www.apumate.net>

2023年6月発行